

令和2年4月20日

きよなん 議会だより



第134号

〒299-2192
千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458
TEL0470-55-4804

発行／鋸南町議会
編集／議会広報特別委員会



見るの初めて
これなあ〜に!?

さんがつのおわり おひさまポカポカしてたから
ばあばといっしょに さくまのダムにおでかけ
サクラっていうんだって とってもきれい (ゆい)

はやわかり

3月定例議会	・・・	2
5議員が町政を問う	・・・	4
予算審査特別委員会	・・・	10
編集後記	・・・	12

3月13日閉会 3月定例議会

9条例改正12補正予算案を可決

一般会計補正は大幅減額に



3月定例議会は、会期を3月4日から13日までの10日間として開催した。定例会には議員報酬に関する発議案1件と町提出20議案が上程されたが、町提出議案の内訳は、条例の一部改正が8件、予算関係で令和元年度補正予算が6件、令和2年度当初予算6件の計12議案。

初日4日は、渡邊信廣・笹生正己・鈴木辰也・笹生あすか・竹田和明の5議員による一般質問が行われ、翌5日は、条例及び補正予算の審議を行い、全議案を全員賛成で可決した。

一方、当初予算は、審査を予算審査特別委員会に付託、9日の審査を経て13日最終日に委員長報告を行い、一般会計については鈴木辰也議員の賛成討論（次頁文末に掲載）の後、全員賛成で全会計予算案を可決した。

議員発議

◆議会の議員の議員報酬年額の特例に関する条例の一部改正

令和元年度に引き続き議長以下、全議員の月々の報酬及び期末手当を1年間5%削減するための条例改正。昨年の台風災害の影響と町特別職及び管理職が給料削減を継続することを受けて令和2年度も引き続き継続することとなった。質疑討論はなく、全員賛成で可決した。

条例の一部改正

◆一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正

町一般職の管理職職員の給料を令和2年度も引き続き1%削減しようとするもの。質疑はなく、笹生あすか議員の賛成討論の後、全員賛成で可決した。

【賛成討論の要旨】

笹生あすか議員

台風被害により、未だ日常生活に不自由をきたしている町民も多く、財政調整基金が大幅に目減りし、復興の行方がまだ

不透明な状況下、町民の心中を推し測れば、削減の継続は、今は止むなしと考える。ただ町職員が災害対応に力を尽くしてくれたのも事実である。一日も早い復興を果たし、来年こそ削減が停止されることを期待し、またお願いし賛成討論とする。

◆町長等の給料月額の特例に関する条例の一部改正

特別職の給料について、町長は30%、副町長、教育長が20%それぞれ引き続き1年間、削減するもの。質疑討論はなく、全員賛成で

可決した。

その他の改正条例

◆鋸南町特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正

◆鋸南町行政委員に関する条例の一部改正

◆鋸南町職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正

◆鋸南町国民健康保険条例の一部改正

◆鋸南町重度心身障害者医療費支給条例の一部改正の5議案については、質疑討論はなく、全員賛成で可決した。



購入予定の道の駅隣接地 (9174 m²)

令和元年度 最終 補正予算

総額 83億8514万3千円に

災害関連予算に質疑

一般会計の最終補正予算

(第9号)については、歳入歳出それぞれ14億4198万4千円を減額し、補正後の総額を83億8514万3千円とした原案を全員賛成で可決した。

各費目とも決算を見込んでの歳入補正ではあるが、大幅な減額となったのは、災害関連事業費が当初見込みより減額されたことによるもので、被災住宅修繕緊急支援事業6億4850万円、損壊家屋撤去業務委託7億5933万円、強い農業・担い手づくり総合交付金3億3800万円などが減額となった。

また年度内完了が見込まない災害復旧事業等の限度額を22事業で新たに設定、5事業で変更した。

なお一般会計補正予算に関する質疑は次のとおり。

問 損壊家屋撤去業務委託を7億5933万円減額したが、財源内訳について説明願う。

答 国の補助金が50%、町の起債が50%です。起債については元利償還金の95%が普通交付税に算入されますので、2.5%程度の負担減となります。

問 この業務委託は、対象が住家のみとのことだが、非住家については半壊及び大規模半壊で約180件以上の被害があると聞いています。昨日の一般質問での「町単独補助の要望」に対し「持ち主の自己責任」との回答を得たが、住宅の改修を終えた住民から、周りの危険な建物を心配する声を多く

聞くが、そのまま放置しておいて良いのか。

答 指摘の建物は危険建物危険家屋になりますが、現在、町としての対応を検討しているところです。

問 強い農業・担い手づくり総合支援交付金の減額は、事業希望者の申請取り下げのためとの説明だが、取り下げが多くなった理由は、

答 給付された保険金の扱い、建築確認の有無など、適用条件が変更されたため、申請手続きが煩雑になったのが大きな理由です。

問 法律等の制約もあつたと聞いているが、農業者に寄り添う観点からも、他の支援を考えられないか。

答 国の計画に沿った事業展開と町の財政事情を勘案し、現在は考えていません。

各会計における補正の状況

	補正前の額	補正額	補正後の額
国民健康保険特別会計	11億5792万7千円	7847万円	12億3639万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億3474万円	△437万2千円	1億3036万8千円
介護保険特別会計	14億1302万円	△138万3千円	14億1163万7千円
鋸南病院事業会計	1億559万5千円	165万1千円	1億724万6千円
水道事業会計	4億8427万8千円	99万9千円	4億8527万7千円

※鋸南病院・水道事業会計については、収益的支出の額

令和2年度一般会計予算賛成討論(鈴木辰也議員)

昨年並み予算となっており、全体の編成に特段の異議はないが、都市交流施設の周辺整備事業の土地購入費1億207万円については、計画未策定のまま予算計上することに疑問を感じる。しかし7月までに計画策定を終えるとのことなので、策定後に購入するとの手順を踏んでもらいたい。

また、水道会計への繰り出し金は、水道企業会計が3億7千万円以上の期末残高を見込んでいることから、この非常時には減額等の配慮も必要ではなかったか。

台風被害、新型肺炎等、町民は心身ともに疲弊している。今後の町民に寄り添った予算執行を強く要望し、賛成討論とする。



菅生正己議員

・被災から復旧まで



渡邊信廣議員

・次期総合計画策定に向けた取り組みについて



鈴木辰也議員

- ・町防災対策について
- ・台風被害に係る支援制度について
- ・新型コロナウイルス対策について



竹田和明議員

・新型インフルエンザへの対策について



菅生あすか議員

- ・公営住宅などの住宅の確保について
- ・ボランティアについて

ここが聞きたい

いっぱん質問

5議員が町政を問う

一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長に対し施政方針や事務の執行状況を聞き、疑問点をただすものです。紙面の都合上概要を掲載しています。



渡邊 信廣 議員

問

実りある次期総合計画を

答

経済的波及効果のある施策を検討

問 町民の方々は昨年の災害により現在も大変苦勞されている。町では国県の支援をはじめ多くの方からの義援金他、財政調整基金を取り崩し、過去最大の約98億円の予算により復旧・復興に向け取り組んでいる。

このような事態はこれからも想定されることであり、計画的かつ健全な行財政運営は最重要課題である。そこで現在作成中の次期総合計画による将来構想案について伺う。

答 計画策定にあたり、①地域の特性を生かし持続的発展を図る計画、②わかり

やすく実効性ある計画、③成果による適切な進化管理

のできる計画、④社会経済情勢等の変化に対応できる計画、⑤総合戦略との整合性を図りつつ個別計画との連携を図る計画、以上の5つを掲げ作業を進めます。

問 人口減少対策について、内房の空き家は非常に人気が高いとのことだが、空き家バンクの取り組みや組織のメンバーはどうか。

答 今までの登録は19件、現在は7件の登録に対し25件の要望があり、9件の成約となっています。組織やメンバーはなく、2社の

不動産業者の協力で行っています。

要望 当町は地の利のある町であり、人口減少に歯止めをかけるためにも、移住者や区長、業者等による組織を作り、あらゆる角度からの取り組みを要望する。

問 人口が減少し、税収の落ち込みが見込まれる中、当町のふるさと納税額は、30年度決算では1600万円、近隣市では2〜3億円の収入を得ているが、財源確保の上から非常に重要だと思う。今後のふるさと納税の取り組みはどうか。

答 現在、63品目26業者に

参加を頂いていますが、町内で加工品を作ることが進んでいない状況から、製造業の方と連携を図りながら特産品の開発に努め充実を図っていきます。

問 鋸南病院療養型病床は現在閉床中であるが、町民の方から存続を望む声が非常に多い。町の説明では看護師不足とのことだが確保出来れば再開可能か。

答 看護職が6名以上確保できれば再開可能と思われます。しかし人員の確保が難しい状況から、当面は一般病床の管理運営の健全化に努めたいと考えます。



療養型病床の存続を望む声は多い



笹生 正己 議員

問

被災者に寄り添った対応をしたか

答

適切な処置は取ったと認識

問 昨年9月の台風15号、町の初動体制・危機管理体制に、問題は無かったか。

答 夜間での風雨の警報が予想されたので、8日17時に避難所を開設し、適切な避難誘導により人的被害は免れました。町民への情報伝達は途切れることなく行われました。また、厳しい環境の中、地域やボランティア・関連業者等の協力のもと、職員の創意工夫によって初期対応は適切に行われたと思っています。

問 障害のある方が「台風の際には誰も来なかった」と話したがどうということか。

答

地域の協力も得て、職員も漏れなく巡回したが、被害が広範囲にわたったので直ぐに行けないお宅もあったかと思えます。

問 被災者に親身になった対応が出来たと思うか。

答 複雑な事務作業など一人一人に寄り添った配慮に努めました。

問 SNSに「避難所で避難生活をしている高齢者が、職員から再三にわたる性急な退去を迫られ、将来を悲観し途方に暮れていた」との被災者支援のボランティアの方の投稿があった。

た。これが寄り添ったと言えるのか。

答 手順を踏み、説明もし、必要な処置は取ったと認識しています。

意見 町長や職員が「良くやった。」と考えても、このような方が一人でもいたら一生懸命やつても帳消しになってしまいます。

【ガレキ、水源に置くなら無害な物に限る】

問 ガレキの処理に多額の費用が掛かっているが、適正に処理されているか。

答 町や近隣には、処理可能な施設や運搬業者がないので、県と協議して、県と

協定を結ぶ事業所に依頼しました。4900トンの廃棄物の処理は適正に完了したことを確認しています。

問 元名の採石場跡地は町の土地だが、水道の水源でもある。何を置いても良いという訳ではない。ここに大量のガレキをはじめあらゆる産業廃棄物が置いてあり、一部飛散している。エアコンや冷蔵庫からの油漏れ、表面が劣化したスレートからはアスベストが飛散する可能性があり、危険ではないか。

答 トタン等には後からネットをかけました。



その後の改善は多少みられたが…

問 そのまま置いてあったから指摘している。1月末に撮った写真もある。

答 配慮が足りませんでした。今後は十分注意します。



鈴木 辰也 議員

問

要支援者名簿作成に住民の協力を

答

できるだけ整理し区に渡したい

問 福祉避難所は、災害対策基本法で基準が定められている。町と協定を結んでいる避難所は1カ所だが、新たな提携先を探しているのか。

答 現在のところ選定しているところはありません。

問 町内で福祉避難所に避難したいという希望者を把握はしているのか。

答 把握はしていません。

問 その数の把握をするためにも、避難行動要支援者名簿を作るべきだと考えるが、名簿作成の進捗状況は。

答 平成29年11月現在で高齢世帯等の1, 176人

のうち346名に名簿掲載の同意確認を行い、245人に同意をもらいました。

この方の名簿は関係者に渡すことは可能な状態です。

問 町だけで名簿の作成や更新を行うのは無理があると考え。各区、民生委員、ケアマネージャーの皆さん

に積極的に協力をお願いすべきと考えるが。

答 できるだけその名簿を整理して、区に渡すことができるようにしていきたいと思っています。

問 損壊家屋撤去事業は、対象が半壊以上の住家で、町では撤去業務と費用償還

合わせて118棟を想定し、3月4日現在、解体の申請数が37件、償還助成申請数が5件、計42件で、解体作業については、3月末から4月にかけて行うということだが、どのように行う

のか。できるだけ早く着手して欲しいが、時期についてはどうか。

答 作業を行う業者の手配等をしている状況で、次の台風、強風や大雨等も予想されるので、なるべく早く作業を実施したいと考えています。

問 非住家で全壊、大規模半壊、半壊の建物、これらの

建物については、支援制度の対象外で、そのまま放置すると2次災害の発生が考えられる。町単独で支援制度として、この撤去事業も

行って欲しいが。

答 対象は基本的には生活実態のある住家です。現在でも近隣市では対象の拡大や独自の補助等は検討されていない状況です。

問 せっかく自律したのだから、町独自の施策としてこの事業を行って欲しい。やるかやらないかの判断は町長だと思いが。

答 普段から自ら自分の所有物については、保険を掛

ける等々の手当をしながらやっていたら、あくまでも個人の所有物をどうするかという話なので、今回は対象の拡大、独自の補助は予定していません。



唯一の提携福祉避難所「鋸南苑」



笹生あすか 議員

問

新たな公営住宅が必要と考えるが

答

必要性は認識 今後十分に検討

問 国は「住宅セーフティ

ネット法」を定めた。安心安全な住宅を確保するために町でも活用できるのではと考える。住宅確保要配慮者（高齢者、障がい者、子育て世代、災害被災者などの住宅の確保に配慮が必要な方）は、町にどの位いるか。

答 3月1日現在、その全てが対象という訳ではありませんが、高齢者が3598人、障がい者が482人で人口の約54%です。子育て世代は、430世帯で全世帯の約12%です。

問 住宅確保要配慮者への災害支援の現状はどうか。

答 要配慮者のうち今回の

災害の被災者については、賃貸型応急住宅いわゆる「みなし仮設住宅」の制度を活用して、賃貸住宅に入居してもらっています。被災者のニーズを把握した中で、迅速な対応が可能な「みなし仮設住宅」を選択することとしました。

問 鋸南町に公営住宅が必要と考えるが、どうか。

答 公営住宅施策については、役割とされている住宅弱者対策を基本として、「住宅確保要配慮者への住まいの提供」、「持ち家取得までの住まいを必要としている

若年層への定住促進」など、

町行政における福祉施策、移住定住施策と連携を図り、併せて財政状況も考慮しながら、十分検討していきたいと考えています。

【ボランテアについて】

問 近隣市との連携の現状はどうなっているか。

答 11月1日に鴨川市里山オフィス内に南部災害支援センターが設置され、NPO法人の運営のもと、安房4市町、富津市、君津市の5市1町が連携しています。高所作業、カビ除去等のボランテア人材育成やマッチングを実施していま

す。2月18日には、この南

部災害支援センターを会場に、千葉県危機管理課、千葉県社会福祉協議会、各市町行政職員、各市町社会福祉協議会、活動ボランテア団体による打合せ会が実施され、活動報告、課題抽出、課題解決のための協議が行われたところです。

問 ボランテア支援など近隣市との連携を強化する必要があると考えるが、どうか。

答 南部災害支援センターは、現在行われている活動の情報共有と抱えている課題、今後考えられる課題等

の抽出を行い、運営団体、

協力団体、行政、社会福祉協議会間の情報連絡調整機能も果たしています。今後は同センターを中心に近隣との連携強化を図る必要があると考えます。



早期に新たな公営住宅整備を



竹田 和明 議員

問

答

新型インフルエンザ対策について

対策行動計画に基づき対策を講じる

問 新型コロナウイルス

は、高齢者の死亡率が高く、70歳代で8%、80歳代で15%といわれている。当町は高齢者が多く、対応を誤れば、多数の死者が出る事態も想定される。町民の生命にかかわる極めて重大な事案だ。

そこで、国の緊急事態宣言が出された場合に町が行うこととなっている「新型インフルエンザ等対策行動計画」（以下「行動計画」という）に関し、以下4点①～④について質問する。

制で臨むのか。

②町が事業主体である水道事業について、安定供給に不安はないか。

③高齢者や障がい者など要援護者への支援内容は。

④物流、流通の停滞への備えとして、物資の備蓄や製造販売事業者との供給協定の締結状況はどうか。

答 ①について、まずは職員が感染しないよう、感染予防に努めます。また、業務には優先順位をつけ、全課にわたり連携を図ります。

②について、緊急時には県内すべての水道事業体との

間で締結している「千葉県

水道災害相互応援協定」に基づき応援により、安定供給を図ります。

③について、感染が確認された在宅療養患者を対象に、見守り、食事の提供、医療機関への移送等の支援を行います。

④現在、感染予防服1900着、マスク3万枚を備蓄しており、さらにマスク3万枚と手指用消毒液200本等を追加発注しています。供給協定を締結している製造販売事業者等はありません。（数値は3月4日現在）

【指摘・要望】 行動計画

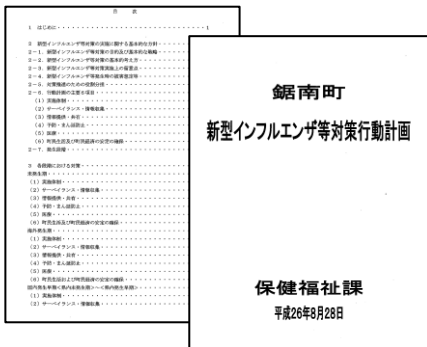
に拠れば、③の「要援護者」とは高齢者および障がい者等であり、未感染であっても支援の対象だ。また、その内容も「見守り」ではなく「見回り」を行うこととなっており、二重の読み間違いである点を指摘しなければならぬ。

そして、見回りは問題が生じる以前に積極的な支援活動を行うものであり、そのためには町内の「要援護者リスト」の整備が必須である。

危機管理は最悪の事態を想定してあらかじめ備える

ことが重要だ。国から緊急

事態宣言が出る前に、行動計画を再度確認し、緊張感をもって、町民が安全・安心できる万全な対策を講じよう要望する。



再確認が望まれる行動計画

査特別委員会報告

令和2年度の当初予算は、議員全員で構成する予算審査特別委員会（小藤田一幸委員長）を設置し、審査を行った。一般会計では、多くの質疑がなされ、慎重審議の結果全ての予算を全員賛成で可決すべきものと決定した。一般会計の歳入歳出総額は39億9654万2千円で、前年度比2.5%、9746万9千円の増となった。新年度で予定している主な事業は、総合計画策定事業597万6千円、都市交流施設周辺整備事業1億301万円、データヘルス計画策定事業528万5千円、有害鳥獣対策協議会委託事業1528万1千円、道路長寿命化修繕事業6900万円、デジタル戸別受信機アンテナ設置事業4077万6千円、小学校内LAN環境整備事業2234万3千円、中学校LAN環境整備事業2315万3千円など。

【保健福祉課関係】

問 老人福祉センターの指定管理を考えているか。
答 施設の利用促進を検討する中で、指定管理についても併せて検討します。

問 中長期的に鋸南病院をどうするのか、具体的な方針を検討しているか。また、検討体制はあるのか。
答 医療法人きさらぎ会との話し合いの中で、人口動向、診療報酬など国の施策も加味し、具体的な検討を進めます。

問 個人番号の交付状況は。
答 令和2年1月末現在1250名で、交付率は近隣市町村と同程度です。

【税務住民課関係】

問 町税の滞納整理状況は。
答 令和元年度の当初滞納額は、約8840万円で、内訳は徴収済額が約1800万円、差押済額が約1150万円、分納対象額が約4850万円、残り約1千万円のうち、約260万円は執行停止をしています。

は、計画が未整備だ。時期を延期する考えはないのか。
答 事業の目的は、同施設の駐車場を拡張し、来客数増加による町の復興を図るものであり、早期実現したいと考えます。

問 地域力再生支援事業補助金の交付対象となる事業は何か。
答 清掃活動や地区愛護活動など、地域コミュニティの基盤強化が望める事業です。新規事業に限らず、従来からの事業も対象となり得るので、交付基準を要綱に定めます。

問 夜遅くまで残業をする職員がいると聞く。職員数は適正なのか。
答 定員管理計画は105名です。災害対応・コロナ対策

【総務企画課関係】

問 令和2年度には、どのような行政改革に取り組むのか。
答 橋梁や漁港の長寿命化を図るとともに、共同入札によるコストの削減に努めます。また、システム化やクラウド化による業務効率化と利便性向上を図ります。

問 道の駅保田小の拡張事業



広域廃棄物処理施設候補地（富津市新富）

令和2年度予算審

問 データヘルス計画とはどのようなものか。またその活用方法は。

答 データ分析に基づき、効果的・効果的な保健事業を行うための事業計画であり、透視の予防、重症化予防等に活用することで、医療費削減につなげたいと考えています。

【地域振興課関係】

問 佐久間ダム公園の全体構想を計画するべきではないか。

答 現在、桜の植樹を進めています。桜の植樹を進めていきたくて考えています。

問 出合い応援サポーターは、要綱上定数8名だが、現状4名しかない。増員についてどのように考えているか。

答 地域おこし協力隊にも事業参加してもらおうと考えています。

問 森林環境譲与税を財源として、エネルギー自給を向上させる取り組みを実施する考えはあるか。

答 まずは譲与税の積立を行う

い、その後具体的な検討を進めます。いつ実施するのかは目処がたつていません。

要望 先行投資の小さい案件からスタートするなど検討してもらいたい。

問 令和2年度の商店会協議会合同売出し補助金は30万円と昨年度比15万円減となっているが、その理由は。

答 昨年度は備品購入費として15万円が加算されていたためです。

【建設水道課関係】

問 広域廃棄物処理施設整備事業は、災害の影響により、建設候補地等計画の変更はあるのか。

答 計画の遅延はありません。また、候補地は未定で、今後選定する業者が提案することとなります。

問 水道会計の資金残高は3億円を上回る。一般会計が厳しい状況にある中、水道会計補助金を昨年同額とした理由は。

答 令和2年度の財政調整基

金の取崩し額が、令和元年度の額を下回ることから、補助金の額については昨年と同額に据え置きました。

【教育課関係】

問 学校給食センター調理・配送業務について、新たな委託事業者を選定しているが、その選定理由は。また、委託料が令和元年度比790万3千円増となった理由は。

答 2社から事業提案があり、見積額だけでなく、確実に業務遂行できるか等の点も評価し選定しました。委託料増の理由は、最低賃金の改定による時給単価の高騰です。

銚南病院事業会計

の主な質疑

問 きさらぎ会はどのような企業努力を行っているか。

答 経費節減に努め、経営状況が悪化した場合には、経営委員会でも対応を協議しています。

問 人間ドック及び健診の利

用者数は。

答 平成30年度実績では、人間ドックが3件、施設健診が107件、社会保険健診が102件です。

問 修繕費200万円の使途は。

答 老朽化した建物および医療機器ならびに台風災害の未修理箇所の修繕等を行うものです。

令和2年度普通会計当初予算

一般会計	39億9,654万2千円
国民健康保険特別会計	11億9,708万8千円
後期高齢者医療特別会計	1億4,300万7千円
介護保険特別会計	13億315万円

議会の中継・録画配信が再開されました

台風15号により議場が被災、議会中継・中継録画配信用の機器も冠水してしまいました。中断を余儀なくされていたインターネット(YouTube ユーチューブ)での配信ですが、3月の定例議会から半年ぶりに再開されました。

視聴は、新装役場ホームページの「議会中継」からできますが、YouTube(ユーチューブ)のウェブサイトで『鋸南町議会』と検索すれば「鋸南町議会チャンネル」で見ることができます。どちらもQRコードを使用しても簡単に視聴できますので、ご利用ください。町の大切なことを決める議会です。ぜひご覧ください。



ホームページを使う
皆さんはこっちな



ユーチューブ
利用の各々方
こちらからじゃ



議会の日誌

2月19日 議員全員協議会
2月25日 議会運営委員会
3月4日～13日
第2回議会定例会

3月9日 予算審査特別委員会
3月26日 議会広報特別委員会
4月3日 議会広報特別委員会協議会

編集後記

議員となり一年が過ぎようとしています。あつという間のこの一年間を振り返ると、相次ぐ台風の被害で大好きなふるさとの景色が変わってしまい、復興に向け自分は何ができるかと悩みながらも、がむしゃらに進んでいました。

3月議会では、令和2年度の予算が決まりました。復興のための予算など、歳入歳出が例年の2.5%増となりました。

町はまだ復興の最中だというのに、今度は新型コロナウイルスが猛威を振るっています。学校は休校となり、様々なイベントも中止となってしまいました。

鋸南町議会も、議場での傍聴は取り止め、別室で音声のみの傍聴とインターネット配信による傍聴となりました。機器が被災しダウンしていた配信機能が今定例会を前に復活。お届けできたのは不幸中の幸いでした。

新型コロナウイルス対策で私たちにできることは、こまめな手洗い、十分な睡眠とバランスの良い食事を心がけ、免疫力アップをすること、人混みには行かないこと、体調が悪い時は休息することとされています。私はこれにプラス『笑い』で乗り切ろうと思います。笑うことで細胞が活性化し、心も身体も元気になると学生時代に教わってから実践しています。皆さんも一緒に、笑顔で乗り切りたいです。

笹生あすか